



松戸市立図書館

ホームページ <http://www.city.matsudo.chiba.jp/library/>
電話:047-365-5115

1月 新着図書案内



2018年1月発行



『ヒトは何故それを食べるのか』

人類の食経験の歴史にはドラマがあった! 食の起源を歴史の中から紐解き、人類の食経験さらには食文化の奥深さを語る。サイト『健康食品フォーラム』連載に加筆修正して書籍化。

佐竹 元吉ほか // 著 中央法規出版



『ウイルス大感染時代』

人類は安全や快適さを求めて文明化を進めてきた結果、自らのウイルス感染症リスクを高めてしまった。私たちは、ウイルスにどう向き合っていくべきなのか。ウイルスと人類の関係を描く。NHKスペシャルを基に単行本化。

NHKスペシャル取材班ほか // 著 KADOKAWA



『こぼこぼ、珈琲』

ゆったり、ほっと、リフレッシュ。珈琲を飲む贅沢。湊かなえ、阿川佐和子、寺田寅彦、村上春樹、植草甚一、常盤新平らによる31篇の珈琲エッセイを収録。

阿川 佐和子ほか // 著 河出書房新社



『世界の美しい色の建築』

ロイヤルハワイアンホテル、エカテリーナ宮殿、サイゴン中央郵便局、奈良女子大学記念館、湯島聖堂、タージマハル…。世界各地の美しい色の建物を、美しい写真で色別に紹介する。

大田 省一 // 編著 エクスナレッジ



『清張鉄道1万3500キロ』

清張世界の誰が、どの路線に最初に乗ったのか? JR全線に乗破した元朝日新聞記者が、松本清張の作品の中から「初乗り場面」のある100作を徹底研究する。作品中の私鉄の初乗り区間一覧等の資料も掲載。折込の路線図あり。

赤塚 隆二 // 著 文藝春秋



『ドイツに渡った日本文化』

第二次世界大戦後、日本とドイツが戦後奇跡とも言うべき急速な復興を遂げる中、日本文化は広くドイツに受け入れられていった。ドイツ国内における日本文化の現状を鮮明に捉え、日独文化交流の将来像を提示する。

寺澤 行忠 // 著 明石書店



『シグナル:未来学者が教える予測の技術』

世界を変える画期的な新製品やサービスが世に出る兆候を、なぜ大半の人は見逃してしまうのか。次の主流となる“本物”と一過性の“ニセモノ”はどう見分ければよいのか。気鋭の未来学者が予測の「6つのステップ」を伝授する。

エイミー ウェブ // 著 ダイヤモンド社



『重力で宇宙を見る』

アインシュタインが予言した2つの奇妙な現象、重力波と重力レンズ。両者を用いた観測によって「時空」のゆがみに切り込み、宇宙誕生の謎と、宇宙の真の姿に迫る。

二間瀬 敏史 // 著 河出書房新社

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





『絵本作家の百聞百見』

「落語絵本シリーズ」などで人気の絵本作家が、いろいろな色のこと、絵本のこと、手渡すこと、アーティスト・表現者のこと、食べ物のこと、旅のこと、自分のことなどを綴る。月刊通信誌『YA!!』連載を大幅加筆。

川端 誠 // 著 子どもの未来社

『ドビュッシーはワインを美味しくするか?』

ヘビメタ好きは言語能力に長けている? スローテンポのBGMは購買意欲を高める? 人間の心理に大きな影響を及ぼす音楽の効能を、英国の物理学者にして音楽家が科学とユーモアで語り尽くす。

ジョン パウエル // 著 濱野 大道 // 訳 早川書房

『サルは大西洋を渡った』

「ありそうもない、稀有な」ルーツこそが本物だった。植物や翅のない昆虫、塩水に弱い両生類やサルなど“海越えができない”はずの生きものたちが、大海原を渡って分布を広げた歴史を、事例を挙げて解き明かす。

アラン デケイロス // 著 みすず書房

『江戸川乱歩と横溝正史』

日本の探偵小説を牽引した2大巨頭、江戸川乱歩と横溝正史。太陽と月にも喩えられる日本文学史上稀な関係はどのように生まれ、育まれたのか。2人の大作家の歩みを辿りながら日本の出版史をも描き出す対比評伝。

中川 右介 // 著 集英社

『歌う鳥のキモチ』

歌いたいキモチのピークはいつ? なわばり内の、どこで歌いたい? オスは二重人格? 鳥たちの面白すぎる私生活と、歌うオスたちのキモチに迫る。聞く人のココロについても考える。

石塚 徹 // 著 山と溪谷社

『オリンピックの真実』

クーベルタンは、なぜオリンピックを復興させようとしたのか。この西洋のスポーツ競技会が、日本を招いたきっかけとは…。多くの謎を解くために現地を訪れた著者が、オリンピックの知られざる歴史と真実を明らかにする。

佐山 和夫 // 著 潮出版社

『俳句でつくる小説工房』

読者から寄せられた句を俳人・堀本裕樹が選句し、優秀な句に選評を加えるとともに、その句から田丸雅智が生み出したショートショートを収録する。『カラフル』連載に、堀本と田丸の対談等を加えて単行本化。

堀本 裕樹 // 著 田丸 雅智 // 著 双葉社

『食いつめものブルース』

貧しくても、学歴がなくても、田舎者でも、希望を胸に生きてきた。けれど繁栄から取り残された。爆買いとも反日とも無縁な中国農民工を描いたノンフィクション。『日経ビジネスオンライン』連載を単行本化。

山田 泰司 // 著 日経BP社

『カラヴァッジョの秘密』

17世紀以降の西洋絵画に絶大な影響を与えた、カラヴァッジョ。常軌を逸した人格と、成功への執着が生み出した彼の傑作は、今なお永遠に生きる。犯罪者にして、天才画家・カラヴァッジョの波乱に満ちた生涯を丹念に描く。

コスタンティーノ ドラッツィオ // 著 河出書房新社

『<女帝>の日本史』

持統天皇、北条政子、淀殿…彼女たちはいかに権力を掌握し、なぜ権力から遠ざかったのか。多様な史資料を駆使し、社会構造や女性観の変遷、東アジア諸国からの影響を検討して謎に迫るとともに、日本の特性をも明らかにする。

原 武史 // 著 NHK出版

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

